

入院する前にワクチンを接種しましょう

～接種忘れはありませんか？母子手帳をご確認ください～



ワクチン接種により予防できる感染症には、百日咳、はしか、風疹、水ぼうそう、おたふくかぜなどがあります。これらは適切な時期に適切な回数のワクチン接種をすることで、り患・重症化を防ぐことができます。

入院中にこれらの感染症にかかると

1. 原則、検査・手術が延期になります。
2. 周りのお子さんにうつしてしまうことがあります。免疫や抵抗力が弱いお子さんが感染すると、ときに重症化し、亡くなることがあります。当院にはそのようなお子さんがたくさん入院しています。
3. 症状がでる前から周りの人へ感染する力をもつことがあるので、気づいたときには院内で病気が広がっていることがあります。

1. 対象

生後 2 か月以上の免疫正常なお子さん（免疫低下・不全症は対象外です）

※通常の接種時期を過ぎた学童期以降のお子さんも対象です

2. 予定入院前のワクチン接種期限

生ワクチン、不活化ワクチン、コロナワクチンすべて入院 2 日前までを目安に、主治医に確認の上、ワクチン接種を進めてください。

▼手術を予定されているお子さん

生ワクチンは 14 日前まで、不活化ワクチン、コロナワクチンは 2 日前までに接種してください。

（※肝移植を受けられる方は個別に対応致します）

手術を受けることが決まったら、主治医に確認の上、ワクチン接種を進めてください。

※生ワクチンは、麻疹風疹（MR）ワクチン、水ぼうそうワクチン、おたふくかぜワクチン、BCG ワクチン、ロタウイルスワクチンをさします。それ以外のワクチンは不活化ワクチンです。

※ワクチンによる抗体価上昇のためには、入院 2 週間前までにワクチン接種をすることが理想的です。

▼手術後のワクチン接種について

手術後からワクチン接種を受けられるまでの期間に決まりはありません。手術の大きさや術後の経過によるので、主治医の指示に従ってください。

3. 水ぼうそうワクチン

特に、1 歳以上のお子さんは、水ぼうそうワクチンを 2 回接種しましょう。1 回目と 2 回目の接種間隔は通常 3 か月あけますが、入院日までに余裕がない場合は 4 週間経過すれば 2 回目を接種することができます。

入院が決まったらワクチン接種を今一度確認し、主治医・かかりつけ医と相談してワクチン接種を進めてください。ご不明な点がありましたらいつでも主治医、看護師にお尋ねください。

埼玉県立小児医療センター ICT / 電話番号（代表）：048-601-2200